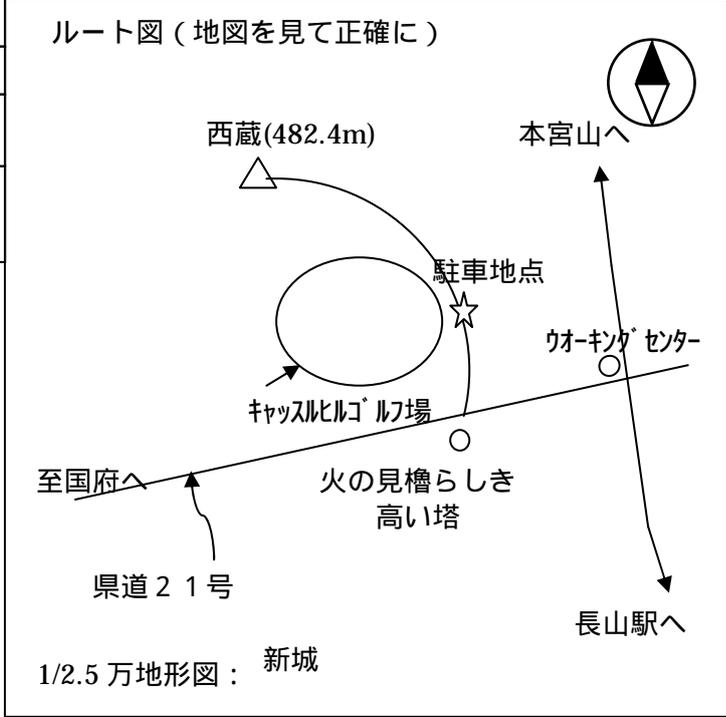


4 月度 <b>例会</b> <b>個人</b> 山行報告書		報告者	岩崎芳彦	参加 メンバー	友人T氏と2人
		報告日	H24.4.09		
山 域		山行日	H24.4.06 (金)		
山 名	西藏 (にしくら)				

山行目的	トレーニング	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	--------	--------------------

配布先  
総会参加数  
山行: 1  
リーダー  
原紙:  
会事務局



4月6日(金) 天気晴れ

駐車地点発 11:45  
 西藏山頂 12:50-13:15  
 駐車地点着 13:55

山行報告 登山のガイドブック「愛知の130山」で見て気になっていた山であった。前日友人T氏と本宮山詣をしようと話が決まっていたが、当日会って話しているうちに急遽「西藏」に変更。その本によると「グレードC」で藪こぎやルートハンティングが難儀らしいとの解説があったので少々緊張して出かけた。場所は本宮山のすぐ西側である。車で行ける所まで乗り込もうと林道に入り、牛舎を過ぎ、舗装道路の切れた所で駐車する。歩き出すとすぐ道は左側にキャッスルヒルCCゴルフ場のフェンス沿いになる。右に沢を見て約20分ぐらい林道を行くと林道は終わり、道は2つに別れる。標識があり直進方向は前山經由西藏、右折方向は尾根道で西藏とあり、右にとる。いよいよ登山道らしくなる。道は落ち葉などで埋め尽くされていて、時々倒木などもあるが分からないことはない。標識やテープなどは相当古いが頼りになる。それでも帰りのことを考え、間違えそうなどころには持参した紙テープ(赤)を着けて進む。稜線に出ると風が冷たい。やがて道は南西方向に向かうようになると造成中の林道に出会う。並行してついる登山道の方を進む。林道はすぐに北の方に離れていった。どこから藪こぎになるかと気にしながら、緩い登り

を行くとひょっこり出たところが西藏山頂であった。結局藪こぎは無かった。ガイドブックは2003年改訂でその後変化したと思われる。山頂からは南東の展望よく暫し休憩の後、来た時と同じ道を戻る。



確認  
(リーダー)  
岩  
24/04/09  
崎

作成  
(報告者)  
岩  
24/04/09  
崎

リーダー所見  
登って見ればあっけない気もするが、近場の里山として一度は行って  
もよいのではと思う。また近くの他の山、例えば「観音山」や  
「吉祥山」などと合わせて1日の山歩きとするのも良さそうである。